

まちを知るツール

～“協創のまちづくり”のトリガーとして～

さあ、みんなでキョウソウだ！

まちを
あそび
たおせ



愛知県安城市 都市計画課

1.はじめに ～見える化を活用するきっかけ～

行政・専門家のため から 市民・気づき集めのための活用へ。

そもそも本市では、政策決定の補助ツールとして、課題共有時にGISを活用していた。

活用事例 1
AICHI街づくり

活用事例 3
社会資本総合

活用事例 4
様々な視察対応

活用事例 6
都市計画マスタープランの見直し

H29-

・合意形成システム-COLLAGREE-を使い、誰でも、いつでも、インターネット上で開かれた議論を試験実施。
※将来的にはAIによる議論のファシリテーション。

・安城市は、コンパクトなまちづくりができていそうなる事例として議論が盛況。
※急務対応すること。

・人口変動により想定される財政悪化を考慮し、社会資本整備によるアウトカムが求められる様になっている。
・AIは国からの支援がからず、

・仕事をしている人だけでなく、子どもや高齢者など、幅広い世代が利用している。

・都市型社会に移行し、まちづくりへのニーズが多様化している。一方で、シーズの多様化も想定される。
・まちにおけるニーズとは何か、新しいまちづくりのあり方を考えていかなければならない。

・ニュータイプの都市マスを検討しなければならぬ。
・課題の見える化やまちづくりへの関係、その方向性を都市マスタープランで訴えていかなければならない。

(2) 都市マスマス見直しに至る経緯

都市計画マスタープランは、「将来見直しを踏まえ、先を見越して、中長期的な視点から都市の将来像を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を明らかにすること」が求められている。

都市マスマス見直しは、都市マスマス見直しを踏まえ、先を見越して、中長期的な視点から都市の将来像を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を明らかにすること。

1) 上位計画の変更
国土利用計画、都市計画マスタープラン、都市計画マスタープランの見直し。

2) 社会情勢の新しい変化
人口減少、高齢化、少子化、都市型社会への移行、都市型社会への移行、都市型社会への移行。

3) 中間評価結果
都市マスマス見直しを踏まえ、先を見越して、中長期的な視点から都市の将来像を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を明らかにすること。

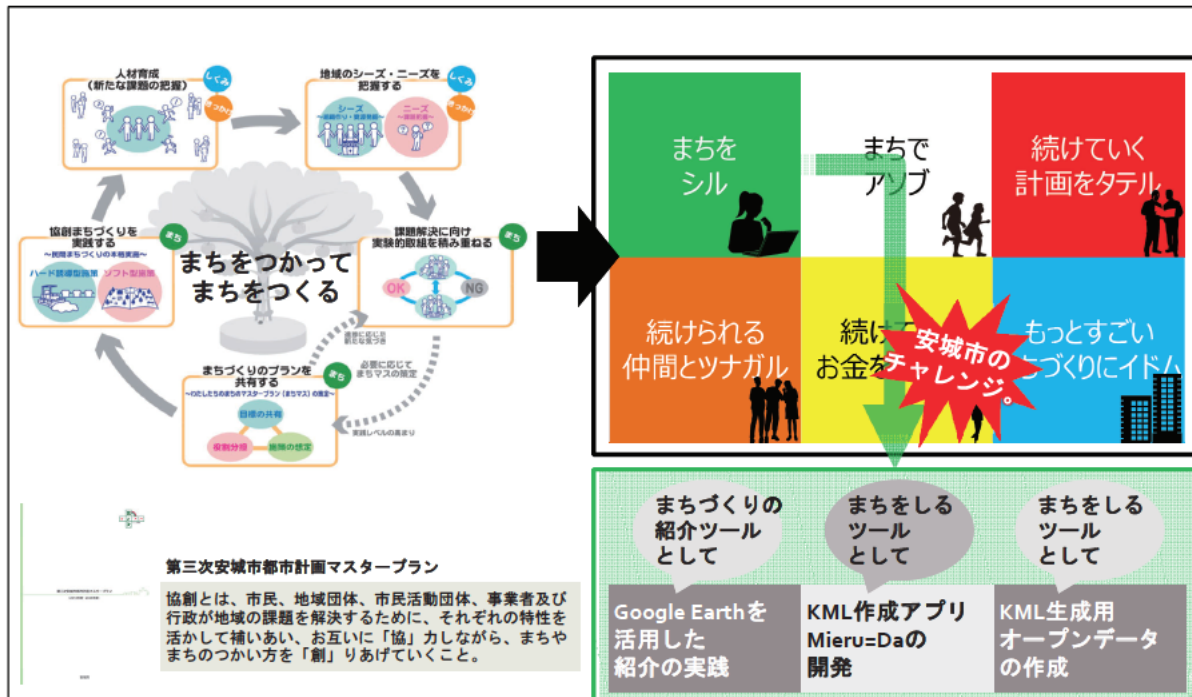
国土利用計画に準拠して、安城市をより発展させるため、第三次安城市都市計画マスタープランを策定、策定。

GISを使った業務効率化事例

課題ではなく、まちへの興味、気づき集めのために活用できないか。

2.とりくみ ～気づき集めは、協創を推進するツール？～

気づき集め＝見える化は、まちをシルツールになりえるのか？



i-都市交流会議2020

3

3.実践事例①（まちづくりの紹介ツールとして）

まちづくりの紹介ツールとして
安城市のチャレンジ
Google Earthを活用した紹介の実践

都市計画マスタープランやまちをわかりやすく？紹介してみた。

事例1
農業関係者へまちづくりを紹介！



寝る人なし。
見やすい！
議論多め！

事例2
市役所執行部へ見える化を紹介！

事例3
WE DO
エントリーシートを作成！



無事？
エントリー完了。

Google Earthをつかう3つのメリット

- ①フリーソフトだから...
⇒誰もが使え環境にある！
- ②操作が簡単だから...
⇒GIS的ニツチな知識は不要！
- ③3Dだから...
⇒色と高さで課題が掛け合う！

都市構造の可視化をタダで実現！

職員提案
優秀賞
ゲット！

i-都市交流会議2020

4

4.実践事例②（まちをしるツールとして）

まちをしる
ツール
として
安城市の
チャレンジ
KML作成アプリ
Mieru=Daの
開発

課題×課題を手軽に見える化！ KML作成アプリを開発。

★Google Earthを活用。誰もが手軽にまちの課題に気づく、きっかけづくりの創出が目的。
○都市計画情報等のデータオープンに合わせ、見たい情報に合わせた、可視化データの作成アプリを開発。
○ARCGIS、QGIS、SISなどのアプリを使わず、3ステップで課題に見える化。自発的な気づきを支援。
○新たな気づきを共有することで、より深いまちへの共感・理解が図られる！



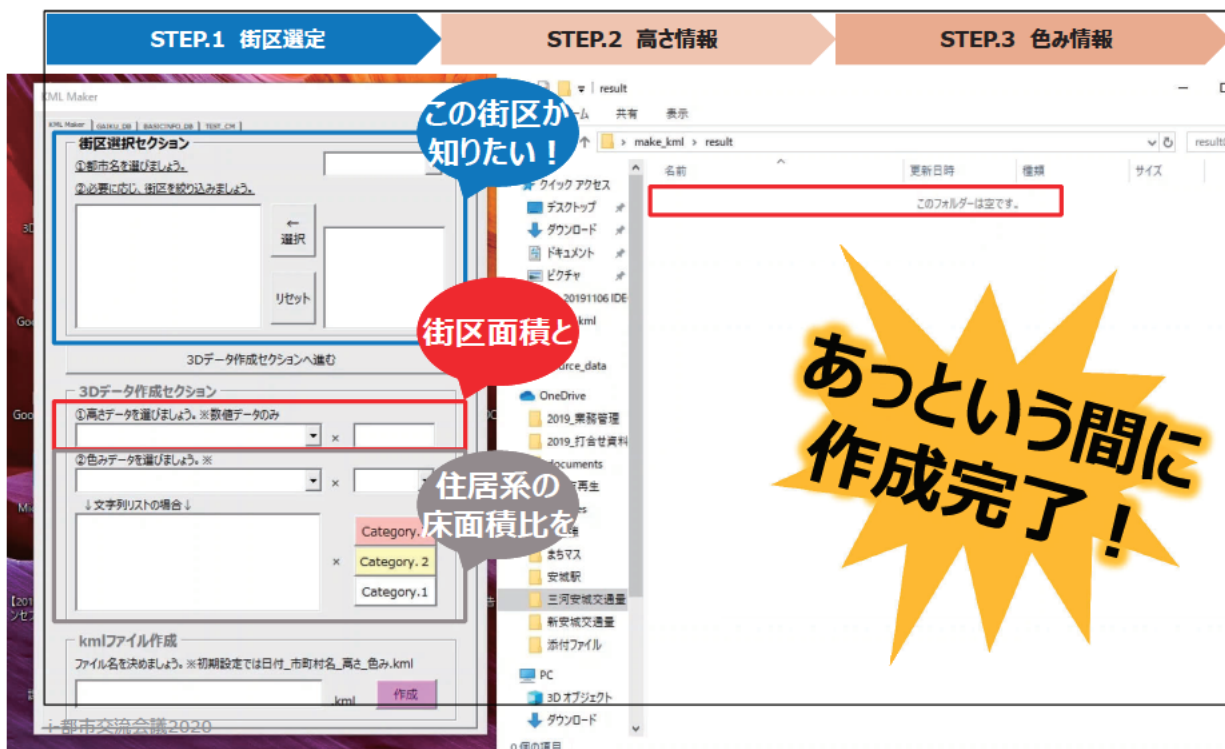
i-都市交流会議2020

5

4.実践事例②（まちをしるツールとして）

まちをしる
ツール
として
安城市の
チャレンジ
KML作成アプリ
Mieru=Daの
開発

3ステップでGoogle Earthで使えるKMLデータを作成。



i-都市交流会議2020

6

5.実践事例③（まちをしるツールとして）

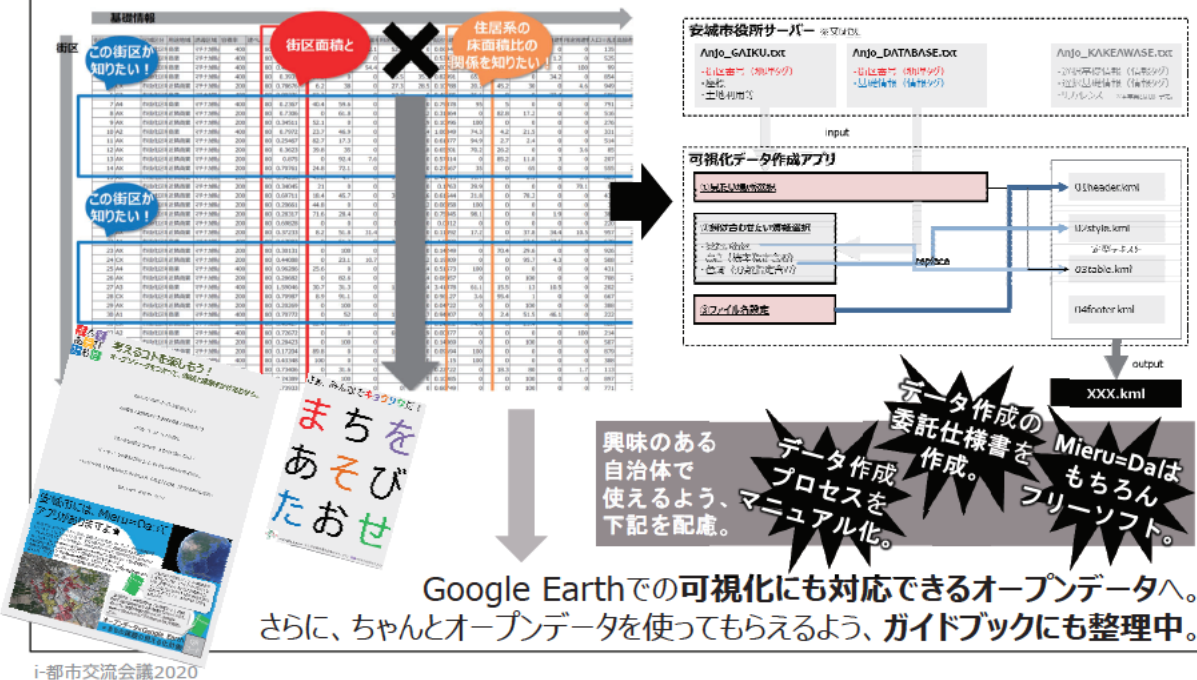
まちをしる
ツール
として

安城市の
チャレンジ

KML生成用
オープンデータ
の作成

Mieru=DaでKMLが生成できる規格を定め、オープンデータ化。

つかい方を知っている人しか使えないオープンデータではなく、



安城市は協創のまちづくりを進めていきます！

都市の紹介

さあ、みんなでキョウソクだ！

まちを
あそび
たおせ



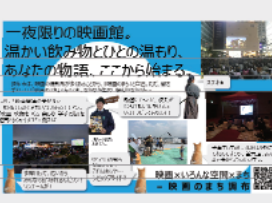
この本でかいてあること。

- 協創のまちづくり？
- 協創のまちづくりとは？
- 都市マストと協創
- 協創のまちづくりとは？
- キョウソク、3つのまちづくり、1つのまちづくり
- キョウソクとは？
- キョウソク、6つのまちづくり
- キョウソクとは？
- ヒントもよう！
- キョウソクとは？

～このガイドブックの使い方～
- このガイドブックは、協創のまちづくりのガイドブックです。
- このガイドブックは、協創のまちづくりのガイドブックです。
- このガイドブックは、協創のまちづくりのガイドブックです。

まちを
あそび
たおせ

考えるコトを楽しもう！
- 考えるコトを楽しもう！
- 考えるコトを楽しもう！



ところでみんな、協創・キョウソク・まちづくりって知ってる？

